

# みやざきの様子



地域子育て支援センターみやざき

子育て支援センターみやざきでは、感染症の予防に、受付に消毒用のジェルやウェットティッシュ、使い捨てマスク等を用意しています。来場の際には、ご自由にお使いください。また、お子さんが万が一嘔吐などした場合でも、すぐに対応できるように、手袋や消毒液なども用意してあります。もしもの時には、スタッフにお声かけください。また、子育て支援センター以外の時間帯に宮崎こども文化センターの幼児ルームをご利用頂いている時にも、同じように何かありましたら、こども文化センターのスタッフにお気軽にお声かけください。

乾燥しがちな冬は、手洗いやうがいだけでなく、こまめに水分補給するだけでも予防になります。(^\_^) こんな季節なので、感染症が気になるからと、家の中に親子二人でいると、煮詰まってしまう事もありますよね。そんな時は、なるべく人ごみを避けて、時々はお散歩などで気分転換をしてみませんか？外気に触れることは、お子さんにとっても、丈夫な身体をつくる為に大事なことです。春まであとちょっとp(^)q♪ (久保)

## ひなぎくさんの絵本紹介



●「どろんこハリー」 ジーン・ジオン ぶん マーガレット・プロイ・グレアムえ わたなべ しげお やく 福音館書店

「ハリーは、くろいぶちのあるしろいいぬです」で、はじまる子どもたちの大好きな絵本です。家を飛び出して泥だらけになって、思いっきり遊んで帰ったハリーを待っていたのは・・・。

でも最後には、「じぶんのうちってなんていいんでしょう。」と思える、あたたかいうちがあってこそその大冒険です。(吉満) ※唄は「はるよこい」です。

## 「節分」のお話し



2月3日は節分。豆まきは子どもたちにも楽しい行事です。

節分は「季節の分かれ目」という意味で、立春・立夏・立秋・立冬の前日をさします。

本来は1年に4回ありましたが、旧暦では立春が新しい年の初めにあたることから、立春の前日だけを節分というようになりました。節分は大晦日ということになるので、特別な意味をもち、節分の日に邪気をはらい新年がいい年になるようお願いをこめて儀式がおこなわれました。

昔は、災害や疫病は鬼の仕業と考えられていました。豆をまくことは、鬼の目を打ち「魔を滅する(まをめっする)」ことに通じます。また、まく豆は炒ったものでないといけないそうです。生だと拾い忘れた豆から芽が出て「魔の目」が出てしまい縁起が悪いとされていました。さらに「炒る」は鬼を「射る」ということにも通じているようです。

豆をまいて、年の数だけ食べて、それでも豆は残りますよね。みなさんどうしてますか？わが家はお米に混ぜて、塩と昆布を入れて炊きます。ちょっぴり香ばしいお豆ごはんのできあがりです♪みなさんも残った豆の活用法があったら教えてください。(森山)



## お知らせ\*miyazaki\*

支援センターみやざきのHPから、「お知らせ」をクリックすると支援センターみやざきのブログ

「お知らせ\*miyazaki\*」

をご覧ください。日頃の様子を写真で紹介したり、コメントしているので見てくださいね♪

行事などの様子を写真などで紹介しています♪

※掲載されたくない方は、スタッフにお声かけください。

### ■地図■

